

編集後記

▼今年の夏は晴天が少なく、お盆を過ぎると朝晩ひんやり冷たい風が。夏を感じることもなく、秋がやってくるとは残念です。▼秋の風物詩といえばサンマ漁。港にはたくさんサンマが水揚げされています。脂がのり本当に美味。新鮮でおいしいを消費者へ届けてくれる漁師さんに感謝です。(内柴)

▼8月23日から25日にかけて、厚岸町民号で行く『むらやま徳内まつりと市内見学』の旅に事務局として同行しました。友好都市である山形県村山市で平成7年から開催されているむらやま徳内まつりの『徳内ばやし』は、厚岸町の獅子舞の囃子を取り入れたもので、まつり会場からは、聞き慣れた音楽が響き渡り、出演団体の力強い踊りに魅了されました。詳しい内容は10月号でご紹介します。(芳賀)

▼現在、9月末公開に向け町のホームページの更新作業中です。今よりも見やすく使いやすいページにリニューアルします。▼かなり遅れていますが映画『おくりびと』を観ました。かなり感動。涙が出っぱなし。逆に笑ってしまったのは映画『ハンサムスーツ』。あり得ない話だけど、こういう願望はあるかもと納得。▼テレビもいいけど、やっぱり映画ですね。(田崎)

ひとのうごき

●人口/10,997人 (+18)

男/ 5,231人 (+2)

女/ 5,766人 (+16)

●世帯/4,431世帯 (+5)

●出生/ 6人 ●転入/34人

●死亡/ 6人 ●転出/16人

●外国人/106人 101世帯

7月31日現在()内は前月比

■発行/厚岸町
■編集/総務課広報情報係

〒088-1192
北海道厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-3138

URL <http://info.town.akkeshi.hokkaido.jp>
携帯電話 <http://203.180.48.2>
E-mail akkeshi@pop2.marimo.or.jp

男の保健師 清水が語る あなたの健康守ります

第一回 少ない男性保健師

今月から連載を担当することになりました。男の保健師、清水雄二です。「厚岸町にも男の保健師がいるの？」と思う人もいるのではないのでしょうか。テレビ等でも「男性看護師」「ナースマン」が取り上げられ、病院でも「見かけることが多くなつたなあ」と実感する今日この頃ですが、残念ながら男性保健師が取り上げられることはありませんし、見かけることもないと思います。なぜなら、絶対的にその数が少ないことが原因だからです。

日本には、約88万人の看護師がいて、その内、男性看護師は約4万5千人います。一方、保健師は約4万人いますが、男性保健師は約400人しかいないのです。つまり、日本の400分の1が私(ある意味、貴重な存在?)ということになります。この連載をきっかけに、保健師の仕事や、男性保健師としての仕事に対する思いなど、少しでも知っていただけたらと思っています。

そんな私を少しでも知っていただきたく、まずは、自己紹介です。出身は道南の函館市です。函館の小中高校、看護学校を卒業後、いったん看護師として病院に就職しましたが、日々接する患者さんとの関わりから、「病気を予防するための活動をしてみたい！」と思い、一念発起し秋田県の保健師学校に入学し、保健師免許を取得しました。しかし、当時は就職難の時代で、なかなか求人がなく、保健師での就職を断念し、再び看護師として働き始めました。

しかし「保健師として働きたい」という思いは強くなる一方でした。そんな気持ちを抑えつつ働いている中、運命ともいえる厚岸町の求人情報に出会いました。厚岸町には牡蠣を食べに一度訪れただけで、馴染みはありませんでしたが、ただただ、保健師になりたいという思いで受験。面接官はみんな優しく終始和やかなムードでの面接でした。しかし、若干気持ちがずさんでいたこの頃の私は

「この優しさは逆に不合格か…」と疑っていました。しかし、その思いは数日後、合格という一言で全て消し去ってしまいました。

現在、保健師として4年目。まだまだ自分の思い描く保健活動は実践できていません。これから、もっともっと町民の皆さんの健康や生活に関われるよう、更に成長していきたいと思っています。

来月号から頑張って執筆しますので、皆さん、読み飛ばさないでください。



左が清水保健師です